

サンワ・リノテックがお届けするお得な記事満載の情報紙。 きっとお役に立ちます。

ユーザー様訪問



(株)環境エンジニアリング・リサーチ様

会社概要

設立 平成19年4月
年商 5億円(2008年度)
従業員数 10名
事業内容 一般建設業
(特にアスベスト事業、土木工事、
電気通信工事をメインとする)

株式会社環境エンジニアリング・リサーチ
代表取締役 矢野 進 様

今号は平成21年6月に社会財団法人 部分隔離協会を発足されたばかりの(株)環境エンジニアリング・リサーチの矢野社長にお話を伺いました。

新しい局面の情報や気づき、心強いエールをいただくなど、大変有意義なお時間をありがとうございました。

まず御社の設立された由来から、 お聞かせ願えますか？

もともとは、親会社である(株)コミュニチエアの社内ベンチャーの一環で一般建設業の会社として発足したのがきっかけでした。ちょうど、クボタに代表される第二次アスベストショックが起こり、世間に一大センセーションを与えた頃です。

社内にアスベストに関するエキスパートが在籍していましたので、すぐさま進出を決意したものの、知名度が低いために十分な仕事量の確保ができず、菊水化学さんの認定会社として活動を開始したのが最初でした。着実に実力を付け、平成19年4月には日本建設センター(BCJ)の審査証明を「アスクリス工法」として取得できるまでに技術も向上していきました。と同時に、これをきっかけに親会社から、アスベスト除去専門会社としての別会社組織へのすすめもあり、(株)環境エンジニアリング・リサーチが誕生した訳です。

部分隔離協会を設立されましたが、 その趣旨をお聞かせください。

アスベスト除去工事がブームになって、異業種業界から大勢の企業が参入された結果、勉強不足のために施工法その他で問題を起こす会社が乱立するようになってしまいました。そのような所に限って、低価格で受注されるので価格破壊を招く原因を作ったのではと思っています。

発注する行政側も、BCJの審査証明取得企業を指名する等手を打ってきておられますが、まだ充分だとは思えません。こうした数ある競争相手さんとの



差別化を図るため、(株)小川テックさんと親会社の(株)コミュニチエアが部分隔離工法(ふうじろう工法)という技術を共同開発しました。その技術を当社が中心となって審査証明を取得し、その優れた工法を世の中に広める活動を始めたのがいきさつです。多分、部分隔離法では最後の審査証明になるのではないかと考えています。

一方、アスベストの除去はほぼ終わったとする見方もありますが、まだあらゆる所に介在しており、従来の工法だと高コストになるので手つかずの状態になっているのが現状です。

例えばエレベーター昇降路とか、常に人が出入りする駐車場や駅構内の天井等のアスベスト除去に同工法を導入すれば、営業を休業せずに施工できるために、いままで考えられなかった作業環境が生まれたわけです。また作業従事者は非汚染域で活動できるので、アスベスト除去、洗浄、代替などの危険作業から隔離されて身を守れるので安全に施工できるようになりました。

このように施主様に喜ばれ、作業現場の従事者を疾病リスクから解放した部分隔離工法を世の中に広めるために、部分隔離協会(<http://bubunkakuri.com/>)をこの6月(平成21年)に設立、旗揚げした次第です。

アスベスト業界の将来性をどのように 見ておられますか？

前項でもいったように、アスベスト除去作業はまだ終わりを迎えたとは思っていません。ただ従来と同じような考え方では活路を見いだせないのは事実かも知れませんが。

他社さんとの差別化は、これは発注側にお願いしたいことですが、競争の選択肢を価格だけでなく技術者や経験の有無・有資格企業かどうか、また信頼度等を受注条件資格に加えてもらって発注を決定して欲しいですね。ノウハウがないにも関わらず受注した業者が、後で問題を起こしてからでは遅いといわざるを得ません。価格で決定するウェイトが高いので、これらの基準をクリアできない小さな企業でも受注できるような気がします。良心的な企業さんほど苦労されているのではないのでしょうか。

また、国などが先頭に立ってアスベストを含有している建物かどうかを公に発表して、建物を保有している企業や行政に計画的な除去をするように推進していただきたいと思います。隠していることで、いまでも推定で約10万人が潜在していると言われていたアスベスト渦による被害者の数は、もっと増えるのではないかと思います。

そのような環境の中で、貴社の 営業計画をお聞かせ願えたら・・・

ひとつは、部分隔離工法 (裏面に続く)

(表面より) の拡大ですね。これは、部分隔離協会との二人三脚になると思いますが、この工法の良さをもっと多くの企業さん方に知ってもらい、浸透を図ることだと考えています。そのためにも、現在協会の趣旨に賛同してもらっている会員さんには一方通行の関係でなく、お互いにメリットのある提供を考えています。エレベーター昇降路のアスベスト除去工事にしても、年間約15件の工事で2億円の売上が見込めるように、こうしたニッチな分野への参入も同工法だから可能だと考えています。

もうひとつは、米軍基地でのアスベスト除去工事への参入です。この件に関しては、現在でも一部の基地では実績を持っていますが、眠れる宝の山という気がします。

全国の米軍基地でアスベスト工事を含め毎年年間約800億円の工事が発注されています。しかもグアムへの移転が本格的に決まれば、その額はさらに増える見込みなので、今以上に太いパイプを構築したいものです。そのためには、この1~2年が勝負だと思っています。この分野の有難いことは、おのずと他社との差

別化ができるし、競争相手が少ないということです。グアム移転に関しては、旧施設の撤去を含めての話なので、この業界もまだ捨てたものじゃないと思っています。

最後は、アスベスト除去で集められたアスベストの第二次利用事業化計画です。これは一民間企業だけではコストがかかりすぎるけど、アスベストを低温溶融し、さらにそれを再利用する研究も行っています。

これは
便利で商品

今夏も猛暑の予報が出ています。



例年、猛暑で被害が大きく取り上げられている割には、いままで対策が遅れていたのが熱中症予防です。それがミスト送風機の登場で、作業現場の環境が大きく変わってきました。

このミスト送風機、水が気化する時に周辺の熱を奪って温度を下げる働きを利用したもので、体感温度を2~4℃下げる効果があるといわれています。

打ち水効果と同じ考え方で、霧状にした水をノズルから発射することで、涼風を呼び込むというスグレモノ。簡単に移動できるコンパクトな送風機の登場でさらに使いやすくなった感じがします。

屋外作業が多い企業さんは展示会などで体感されて、ご検討なされてはいかがでしょうか。当社でもご相談に応じますので、ご連絡ください。

意外とアクティブな(!?) ホウリツの世界

こんにちは。ライト最例ハウスの島田です。このコーナーもちょっとは認知されてきて…いれば嬉しいです! さて、前回、「法律の動きを知るためには『六法』を読むのがイチバン!」ということを知ったりのべえ~(以下「り」)。でも、まだ疑問が残っているようで…。

◆解説書はダメ!? ホウリツの接し方

り「でも、ちょっと思っただけで、『六法』なんて堅そ~なモン読むより、『よく分かる〇〇法』とかいう本を買って読めばいいんじゃない?」

島「りのべえ~、よく考えてみて。その解説書を書くのは誰?」

り「そりゃあ、お偉い学者さんやろ? 正しいこと書いてるに決まってるやん。」

島「そんなことないよ! 法律を作るのは国会で、その学者さんじゃないよね?」

り「そう言われればそうやな。他人が解説するって何か変な感じがわ。」

島「だから学者さんの解説書っていうのは、あくまでもその学者さん独自の視点が多く含まれてるの。でも『これは私の独自の考えで、正しいかどうかは分かりません。』なんて書いてたらさっぱり売れないでしょ? (笑) だから、それが分からないように書かれてるの。」

り「へえ~! 絶対正しいモンやと思っただけでたわ~!」

島「その考えが本当に正しいかどうかは、裁判してみないと分からないからね。だから、本だけを鵜呑みにするんじゃなくて、『法律に書いていること』と『法律に書かれていないこと』を区別することから始めなきゃ!」

り「なるほど。要するに、ホウリツそのものを読んで『何が書かれているか』を知ってからやないと、解説書だけ読むのは危険なんやなあ。」

島「その通り! じゃ、さっそく『六法』買いに行こっか!」

り「え… (汗)」

(つづく)

島田 恵理(ライト最例ハウス所属)



第15回 ネキスポ関西2009

2009年9月3日(木)~5日(土) 於:インテックス大阪

ネキスポ関西とは、従来開催されていましたが、New環境展大阪が15周年を記念して、規模を拡大して開催される見本市です。当社は、今回USAバビリオン内にブースを設けて出展できる運びになり、グローブバッグの展示・出展が決定しました。お越しお待ちしております。

出展決定

編集後記

今回は、NTTの関連会社である環境エンジニアリング・リサーチ(KER)の矢野社長へのインタビューです。

当社とNTTさんとの結びつきは、その子会社であるアイレック技研様が始まりであり、すでに7年位になります。当時は沖縄の米軍基地でのアスベスト対策工事が主で、大量にレンタル品の特殊機械を利用させていただきました。その後も首都圏にある環境省・厚生労働省合同庁舎でも当社のオリジナル負圧機SR-60を長期間稼働させてもらったりと、ありがたいユーザー様です。

今回は、新会社設立の由来から、今後のアスベスト業界の事まで、広くお話を伺うことができました。また折りしも6月15日には矢野社長が会長を務める部分隔離協会が設立され、新しいウエーブがこの業界にも起きそうな予感がします。

この協会では、ふうじろう工法と並んで瓦版Vol.5で取り上げたグローブバッグも部分隔離の工法として認定されており、当社としては、続けてタイムリーな記事をお届けできることに驚いております。

■発行

作業現場の快適のために—
レンタル、販売から工事施工まで

Sanwa Renotech

サンワ・リノテック株式会社
www.sanwa-renotech.com

アスベスト サンワ で検索できます

〒551-0033 大阪市大正区北恩加島1丁目17番4号
TEL06(6551)0024 FAX06(6554)1057
東京営業所 〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-5-18-401
TEL03(6411)0308 FAX03(6411)0309

(09.07.25T)